

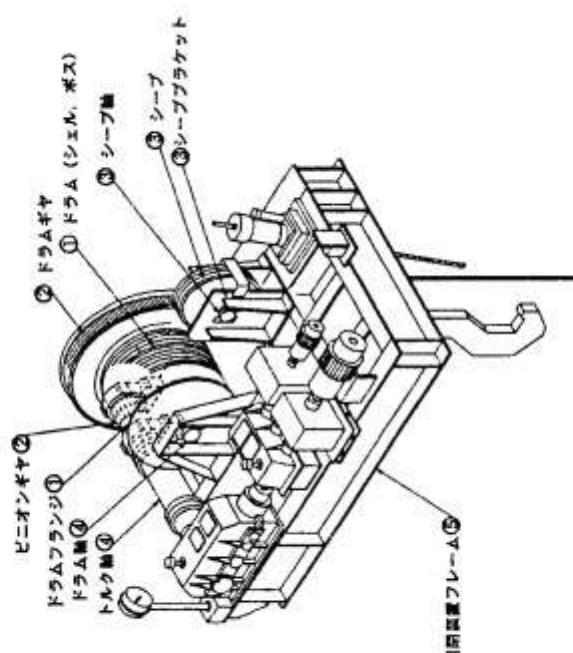
別表-1-14

設 備 名	円形多段ゲート [胴体部]	区 分	胴体部外 (1/2)
主要部材名	① ハンガ引掛部またはシーブブラケット ② ガイドローラアーム ([F, W], ブラケット, ローラ, 軸)		
部 材 指 示 図			

別表-1-13

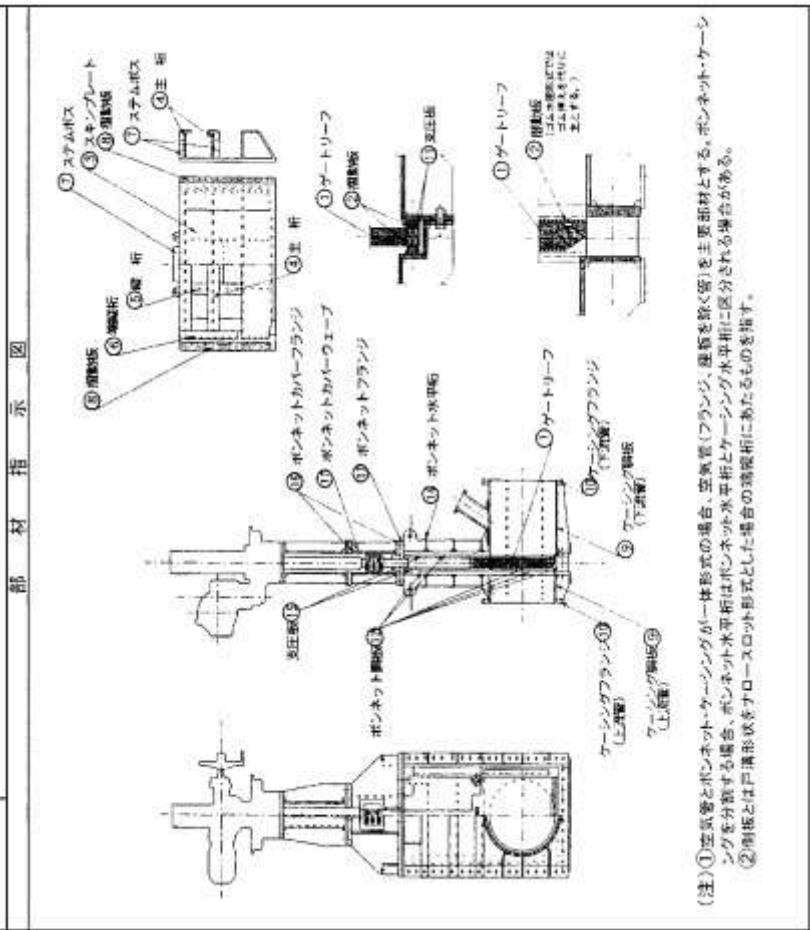
設 備 名	円形多段ゲート [胴体部]	区 分	胴体部外 (1/2)
主要部材名	① 管胴各口部 ② リングガーダ ③ シーブ ④ シーブブラケット ⑤ ガイドローラアーム ([F, W], ブラケット, ローラ, 軸)	[整流板, リフティングアーム] ⑦ コーン ⑧ 上面板 ⑨ 側面板 ⑩ 下面板 ⑪ テンションロッド ⑫ シーブ ⑬ シーブブラケット	
部 材 指 示 図			

別表-1-15 ワイヤロープウィンチ式開閉装置

設備名	各種ゲート共通	区 分	開閉装置部 (ワイヤロープウィンチ式)
主要部材名 ① ドラム部 (シェル, ポス, フランジ) ② 巻ギヤ (ドラムギヤ, ビニオンギヤ) ③ シープ部 (シープ, ブラケット, 軸) ④ 軸頭 (ドラム軸, ギヤ軸, ビニオン軸, トルク軸) ⑤ 開閉装置フレーム [F, W]			
部 材 部 示 図			
			

別表-1-17

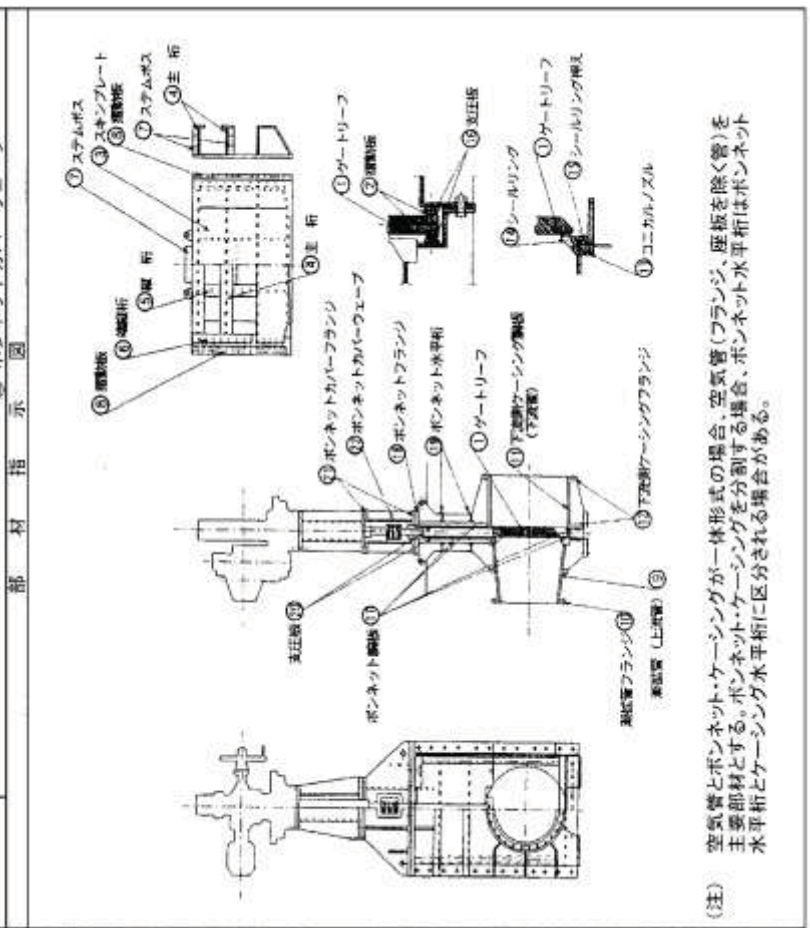
設備名	区 分
主要部材名	高圧スライドゲート
① ゲートリーフ	[扉体部 (板構造)]
② 摺動板	[扉体部 (板構造)]
③ スキンププレート	[扉体部 (板構造)]
④ 主桁 [F, W]	[扉体部 (板構造)]
⑤ 縦桁 [F, W]	[扉体部 (板構造)]
⑥ 縦桁 [F, W]	[扉体部 (板構造)]
⑦ ステムボス	[扉体部 (板構造)]
⑧ 摺動板	[扉体部 (板構造)]
⑨ ケーシング鋼板	[ケーシング部]
⑩ ケーシングフランジ	[ケーシング部]
⑪ 変圧板	[ケーシング部]
⑫ ボンネット部	[ケーシング部]
⑬ ボンネットフランジ	[ケーシング部]
⑭ ボンネット水平桁 [F, W]	[ケーシング部]
⑮ 変圧板	[ケーシング部]
⑯ ボンネットカバー部	[ケーシング部]
⑰ ボンネットカバーフランジ	[ケーシング部]



(注) ① 空気管とボンネットケーシングが一体形式の場合、空気管(フランジ、壁板を除く管)を主要部材とする。ボンネットケーシングを分割する構造、ボンネット水平桁はボンネット水平桁とケーシング水水平桁に区分される場合がある。  
 ② 側板とは戸溝形状をナローロッド形式とした場合の端板材に於たるものを指す。

別表-1-16 小容量放流設備用ゲート・バルブ

設備名	区 分
主要部材名	ジェットフロアゲート
① ゲートリーフ	[扉体部 (板構造)]
② 摺動板	[扉体部 (板構造)]
③ シールリング	[扉体部 (板構造)]
④ 主桁 [F, W]	[扉体部 (板構造)]
⑤ 縦桁 [F, W]	[扉体部 (板構造)]
⑥ ステムボス	[扉体部 (板構造)]
⑦ 摺動板	[ケーシング部]
⑧ 下流側ケーシング鋼板	[ケーシング部]
⑨ 漸縮管フランジ	[ケーシング部]
⑩ 漸縮管	[ケーシング部]
⑪ 下流側ケーシングフランジ	[ケーシング部]
⑫ 下流側ケーシング水水平桁 [F, W]	[ケーシング部]
⑬ 支圧板	[ケーシング部]
⑭ ボンネットカバー部	[ケーシング部]
⑮ ボンネットカバーフランジ	[ケーシング部]
⑯ ボンネットカバーウエーブ	[ケーシング部]
⑰ 下流側ケーシングフランジ	[ケーシング部]
⑱ 下流側ケーシング水水平桁 [F, W]	[ケーシング部]
⑳ コニカルノズル	[ケーシング部]



(注) 空気管とボンネットケーシングが一体形式の場合、空気管(フランジ、壁板を除く管)を主要部材とする。ボンネットケーシングを分割する場合、ボンネット水水平桁はボンネット水水平桁とケーシング水水平桁に区分される場合がある。

別表-1-19

設備名	ホロージェットバルブ	区分	スピンドル式
主要部材名	① 上流側本体 ② 下流側本体 ③ ニードル ④ ブランジャー ⑤ グランド ⑥ スピンドルカバー ⑦ 本体サポート主桁 ⑧ 本体内筒		
部 材 指 示 図			

別表-1-18

設備名	スルースバルブ [胴体部(板構造)]	区分	部 材 指 示 図 (指示新次番)
主要部材名	① ゲートリフト ② 振動板 [胴体部(桁構造)] ③ スキンプレート ④ 主桁 [F、W] ⑤ 縦桁 [F、W] ⑥ 蝶継桁 [F、W] ⑦ ステムボス ⑧ 振動板 [ケーシング部] ⑨ ケーシング胴板 ⑩ ケーシングフランジ ケーシング水平桁 [F、W]	⑪ 支柱板 [ボンネット部] ⑫ ボンネット胴板 ⑬ ボンネットフランジ ⑭ ボンネット水平桁 [F、W] ⑮ 支柱板 [ボンネットカバー部] ⑯ ボンネットカバーフランジ ⑰ ボンネットカバーウェーブ	
<p>(注) 空気管とボンネットケーシングが一体形式の場合は、空気管(フランジ、横桁を除く管)を主要部材とする。ボンネットケーシングを分割する場合、ボンネット水平桁はボンネット水平桁とケーシング水平桁に区分される場合がある。</p>			

別表-1-21

設備名	ホロージェットバルブ	区分	通圧式
主要部材名	① 上流側本体 ② 下流側本体 ③ ニードル ④ ブランジャー ⑤ グランド(上・下流)	⑥ シート(上・下流) ⑦ フッシュ(上・下流) ⑧ シリンダカバー ⑨ 本体サポート主桁 ⑩ シリンダ	油圧式
設備名	フィクストコンバルブ	区分	スピンドル式
主要部材名	① 井筒(管筒) ② 井筒フランジ ③ コーン ④ 整流板 ⑤ 水切板	⑥ サポート ⑦ サポートリング ⑧ シートリング ⑨ システムナット	

部 材 指 示 図	

別表-1-20

設備名	ホロージェットバルブ	区分	通圧式
主要部材名	① 上流側本体 ② 下流側本体 ③ ニードル ④ ブランジャー ⑤ グランド(上・下流)	⑥ シート(上・下流) ⑦ フッシュ(上・下流) ⑧ シリンダカバー ⑨ 本体サポート主桁 ⑩ シリンダ	油圧式
設備名	ホロージェットバルブ	区分	油圧式
主要部材名	① 上流側本体 ② 下流側本体 ③ ニードル ④ ブランジャー ⑤ グランド(上・下流)	⑥ シート(上・下流) ⑦ フッシュ(上・下流) ⑧ シリンダカバー ⑨ 本体サポート主桁 ⑩ シリンダ	

部 材 指 示 図	

別表-2-1 標準製作工数算定要領

ゲート形式	区 分	標準製作工数算定式	x の 定 義
三方水密ラジアルゲート	扉 体	$y=8.33x+10$	x : 扉体面積 (㎡) [x の適用範囲 ; 60㎡~200㎡] 扉体面積 : 純径間 (m) × 扉高 (m) (図-1参照)  図-1 三方水密ラジアルゲート 扉体  
	基礎材	$y=3.35x-75$	
	戸 当 り	$y=0.83x+18$	x : 片側扉体円弧長 (m) × 2 + 純径間 (m) (図-2参照) 片側扉体円弧長は水密延長とする。 [x の適用範囲 ; 20m~60m]  図-2 三方水密ラジアルゲート 戸当り  

別表-2-2 標準製作工数算定要領

ゲート形式	区 分	標準製作工数算定式	x の 定 義
四方水密ラジアルゲート	扉 体	$y=40.6x-60$	x : 扉体面積 (㎡) (図-3参照) 扉体面積 : 扉高 (m) × 純径間 (m) h : 設計水深 : 扉体の直上流における水深に波浪高さを加えた水深のうち、扉体設計に支配的となる水深をいう (m)  図-3 四方水密ラジアルゲート 扉体   [x の適用範囲 ; 6㎡~50㎡] [h の適用範囲 ; 20m~120m]
	基礎材	$y=7.39x+62$	
	水深補正 扉 体	$kh=0.0295h+0.410$	
	基礎材	$kh=0.0217h+0.576$	
	戸 当 り	$y=3.38x+134$	
水深補正 戸 当 り	$kh=0.0382h+0.236$		
閉閉装置	$y=0.01x+113$	x : 総重 (k) + (h × d × 2) × e + f (m) [x の適用範囲 490kNm~26000kNm]	